

## Topics

### 湖西市がリノベーションまちづくり講演会・意見交換会開催 駅前の空き店舗活用について関係者が理解深める

先月2日、湖西市でリノベーションまちづくり講演会と意見交換会が開かれ、リノベーションまちづくりによる駅前の空き店舗活用について理解を深めました。



湖西市産業振興課が主催した今回のイベント。  
駅前商店街の組合員や地域の若手店主など、約20人が参加しました。

講師は長泉町などでリノベーションまちづくりを実践する山田知弘氏。県のメンター派遣制度を活用して招かれ、「まちの隙間のつなぎ方」と題して講演を行いました。

山田氏は「空き家や空き店舗は、空いているから埋めるのではない。まずはまちづくり人材の発掘、育成をしてほしい」と、空き店舗対策との違いを説明。

その上で、「どんな人に店を出してほしいのかという人物像を明確にし、集積させることが、エリアの価値を高める出店につながる」と強調しました。

また、「いきなり本格的な出店を目指すのではなく、無人販売や不定期の出店など小さな挑戦から始め、段階的に店舗開業につなげる仕組みづくりが大事だ」として、自身が長泉町で取り組む仕組みづくりを紹介しました。

その後、山田氏がファシリテーターとなり、空き店舗活用を進めるための体制づくりについて関係者間での意見交換を実施。

「人と人をつなぐプラットフォームが必要」「まずはイベントなどで一日だけ貸すなど、小さく始めることが大切」「何かを始めたいという思いを持った人が気軽に集まれる場があるといい」といった意見が出るなど、活用について議論を交わしました。

#### 湖西市リノベーションまちづくり担当：山本実加氏コメント

「講演会では、湖西市と同規模の長泉町の事例を聞いたことが非常に参考になり、まちづくりにおける人材育成や段階的な挑戦の重要性を再認識しました。また、関係者間で地域の課題に対する目線を合わせることができたのが良かったです。今後もこのような取組を継続し、地域の活性化に向けた体制づくりを進めていきたいと考えています。」